

ヒアリ

目科名：ハチ目アリ科
学名：Solenopsis invicta
原産地域：南アメリカ

【どんな被害を引き起こすのか】

生態系：在来アリの駆逐

- ・在来アリの駆逐
- ・小動物を食べて減少させる

産 業：農作物への被害

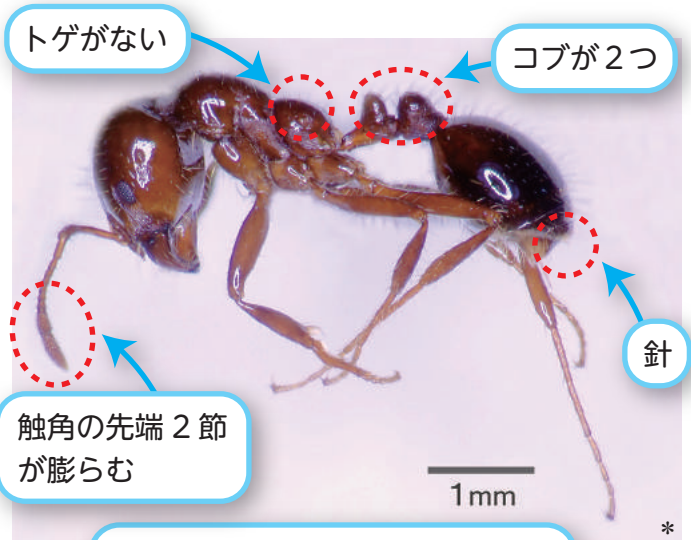
- ・農作物をかじり品質や収量を低下させる
- ・家畜を襲う
- ・農作業をする人が頻繁に刺され、耕作放棄や離農者が増加した例あり

生 活：停電や火災の発生

- ・電気設備に営巣し、信号機等を故障させる
- ・電線をかじり停電やショートを引き起こす

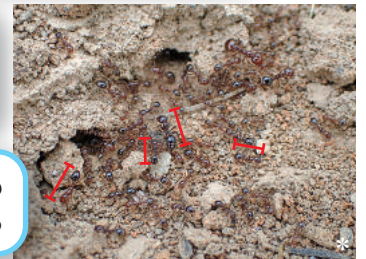
健 康：お尻の針で刺す

- ・刺されると強い痛みが生じ、体質等によっては強いアレルギー反応(アナフィラキシーショック)を起こすおそれがある



- ・体色は赤茶色。腹部はやや暗めの色
- ・全体的に光沢がある

<体長>
女王アリ 約8mm
働きアリ 2.5～6mm



同じ働きアリでも
大きさがばらばら

【生息場所・行動・食べ物】

- ・開けた草地を好む
- ・高さ40cm、最大直径100cmに達するドーム状のアリ塚をつくる
- ・アリ塚が大きく目立つようになるまでには、2～3年かかる
- ・日本各地の気候条件をもとにした予測では、東北地方南部まで生息可能
- ・巣を刺激すると、集団で現れて防衛
- ・大顎で咬んで体を固定させてから、腹部の針で繰り返し刺す
- ・雑食性で、花蜜、樹液、種子、昆虫、トカゲ等の小型脊椎動物を食べる



アリ塚

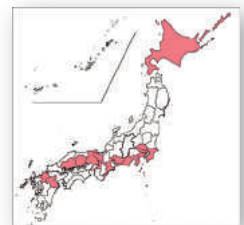
【どこまで広がっているか】

長野県では

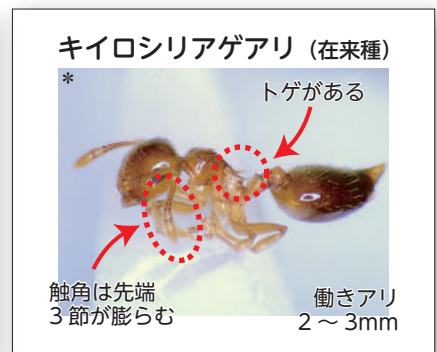
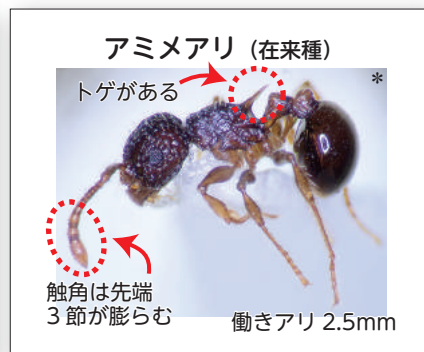
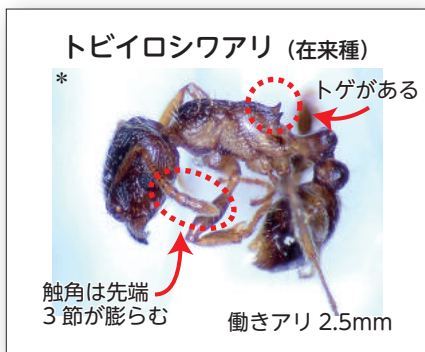
- ・2019年12月現在、県内での分布なし

全国では

- ・2017年、兵庫県のコンテナで発見を機に全国の港での発見が相次ぐ
- ・2019年12月までに48例が確認
- ・2019年10月に、東京都の青梅ふ頭で多数の女王アリを含む500匹以上から成るコロニーを確認



【間違わないで！】



【発見したときは】

- 疑わしいアリを見つけた場合は、触らない
- 巣を刺激しない！（突ついたりしない）
- 環境省ヒアリ相談ダイヤル（0570-046-110）か、お住まいの市町村または県地域振興局環境課に連絡する
- 同じようなアリが発見現場の周りにいないか観察し、可能な範囲で集団の状況を把握する
- 少数個体のみであればスプレーや液剤、熱湯等で駆除する（駆除した個体は、種を特定するために必要です）
- 発見場所が段ボールやコンテナ内で、個体が多数いた場合は速やかに密封・目張り等をする
難しい場合は、刺激せずそっとしておく

【刺されたときは】

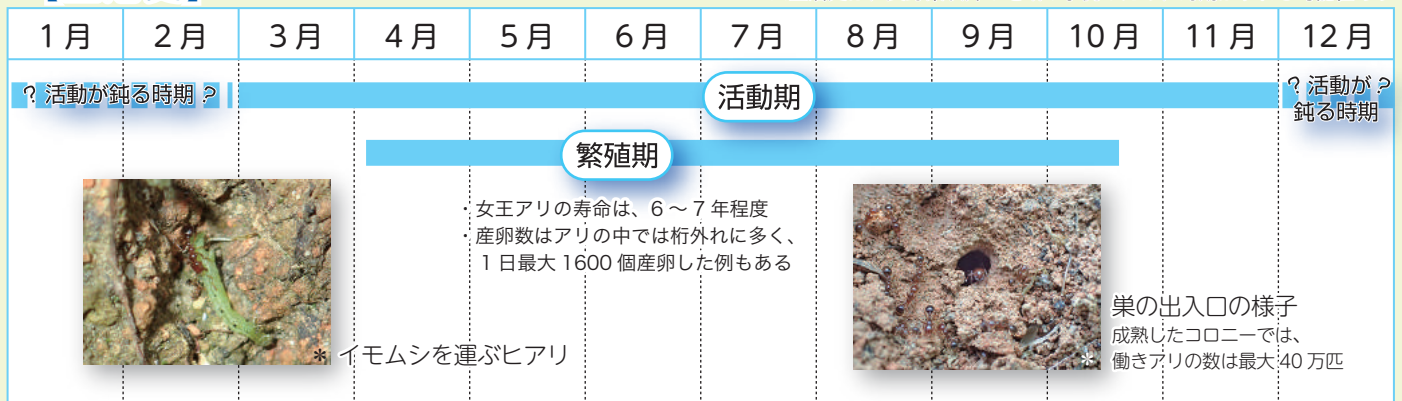
- 刺されると、アルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水泡状に腫れる
- 刺された直後
 - ・ 刺された場所を冷たいタオルや保冷材で冷やす
 - ・ 20～30分程度は横になる等ゆっくり休み、じんましん等の体調の変化がないか注意する
 - ・ 軽度の症状のみであり、悪化する様子がなければ、その後医療機関を受診
- 容体が変化した場合（呼吸が苦しい、激しい動悸、めまい等）
 - ・ 症状が急速に進むため、一番近い医療機関をすぐに受診
 - ・ 受診時は、「アリに刺されたこと」「アナフィラキシー症状の可能性があること」を伝える



軽症の患部の様子（刺されて1日後）

【生活史】

※生活史は、長野県以外の地域の事例のため、時期がずれる可能性あり



【防除方法】

通報 早期発見が最も重要！

- 疑わしいアリがいたら、市町村または県に連絡をする ※生きたまま別の場所に移動させないこと

殺虫剤での個体の駆除 拡大を防ぐ

- 疑わしいアリを発見したら、まずは殺虫剤（スプレーか液剤）もしくは熱湯を個体に直接散布
- 駆除した個体は捨てずに、市町村または県地域振興局環境課に連絡（種が特定できていなくてOK）

巣の駆除 根絶を目指す

- ◎ 主に市町村や地域振興局が担当します
- ◎ ヒアリの巣の駆除を検討される場合は お住まいの市町村または県地域振興局環境課にご相談ください
- ベイト剤の設置は、巣の範囲の把握状況によって方法が異なる ※ベイト剤とは、餌として巣に持ち込まれるタイプの殺虫剤のこと
 - ・ 巣の範囲が分かっている場合
巣の範囲を囲むように、液剤を散布し、ベイト剤を設置する
 - ・ 巣の範囲が不明の場合
トラップによるモニタリング等によって巣の範囲をできるだけ特定し、ベイト剤を設置する（巣の範囲を特定する前に液剤散布をしてしまうと、女王アリが逃げ出してしむことがある）

- 実施時期は、活動が活発な時期
- ベイト剤及び液剤は、市販のアリ用の遅効性の薬剤を使用

※間違えて在来アリを駆除すると、かえってヒアリが定着しやすくなる可能性があります

地上で見られる個体は、地域に生息している集団のごく一部。そのため、これらの個体を殺虫するだけでなく、巣にいる多くの個体を効率的に駆除する必要があります。